

## 必修共通講習の内容（具体例）

### 1. 医療倫理

#### (1) 臨床倫理

- ・医療倫理の基本原則、法と倫理
- ・医師・患者関係の倫理（インフォームドコンセント、同意能力、守秘義務）
- ・倫理上の臨床課題（終末期医療、出生をめぐる問題、臨床課題へのアプローチ法）
- ・医療資源配分

#### (2) 医学研究と倫理

- ・人を対象とする研究倫理の歴史と基本原則
- ・人を対象とする研究倫理に関する国内外の関連法規・ガイドライン  
「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」
- ・研究倫理審査委員会、治験審査委員会の機能と役割
- ・先端的な医学・生命科学をめぐる倫理的課題
- ・公正な研究 (Research Integrity)
- ・利益相反 (COI: Conflict of Interest)

#### (3) 以上の医療倫理に関する項目と関連する事項

### 2. 医療安全

#### (1) 医療の質の評価と改善の方略

#### (2) EBM (Evidence-based Medicine) を含むベストプラクティスの実践

#### (3) 医療の経済性、効率性への配慮

#### (4) 医療に内在するリスクと安全な医療の提供

（スイスチーズモデル、ハインリッヒの法則、PDCA サイクル、危険予知トレーニング）

#### (5) インシデント・アクシデント発生時の適切な対応

（現場対応、インシデント・アクシデントレポートなど）

#### (6) エラーの要因とその防止

#### (7) 医薬品・医療機器関連有害事象と安全対策

#### (8) 公的補償制度（PMDA の医薬品副作用被害救済制度や各都道府県の制度）

#### (9) 以上の医療安全に関する項目と関連する事項

### 3. 感染対策

#### (1) 標準予防策（スタンダード・プレコーション）

#### (2) 感染経路の理解と経路別予防策

#### (3) 感染症発生時の適切な対応

#### (4) 耐性菌対策と抗菌薬の適正使用

#### (5) 新興・再興感染症への対応

#### (6) 以上の感染対策に関する項目と関連する事項